

八王子市市民活動支援センター 令和3年度 団体調査

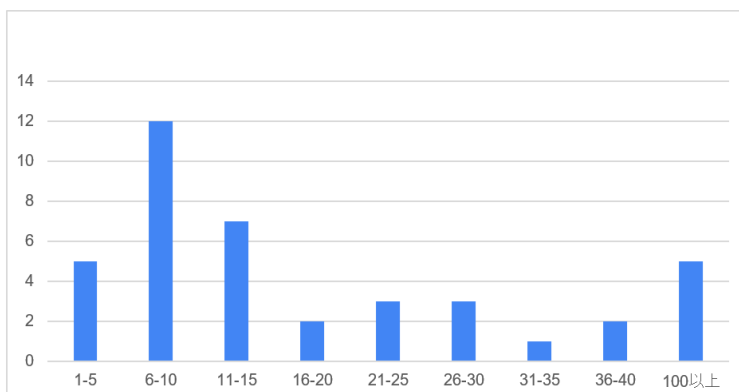
調査期間令和3年7月1日（木）～8月31日（火） 回答数 42

I. 貴団体について

1. 団体名

八王子やまゆり咲かせ隊/石川子ども食堂/地球冒険学校準備会/特定非営利活動法人市民ユニットりぼん
NPO 法人 防災・災害ボランティア かわせみ/いっぽの会/東京八王子ワイズメンズクラブ/
八王子にはんごの会/寝たきり防止応援隊/映像802/八王子汎学倶楽部/ヴィレッジはちおうじ/
生き甲斐を探す会/情報ボランティアの会・八王子/社会福祉法人路の会ひのき工房/八王子肝友会/
ボランティアよりそい/石川子ども食堂/虹の橋/日本中国友好協会八王子支部/エコショップ元気広場/
美術教育かけこみ寺/すみれ会/虹の橋/わくわく紙芝居サークル/多職種と共に食支援を考える会/
地域デビューの会/住まいづくり志民塾/地域デビューOB会/八王子平和・原爆資料館/
南大沢音訳の会「こだま」/NPO 法人すまいるカフェ/マルベリー東京パイロットクラブ/
NPO 法人八王子生涯学習コーディネーター会/特定非営利活動法人めじろむつみクラブ/
八王子住まいづくり市民塾/みらいき研究会/高尾山とんとんむかし語り部の会/子ども応援アンアンネット

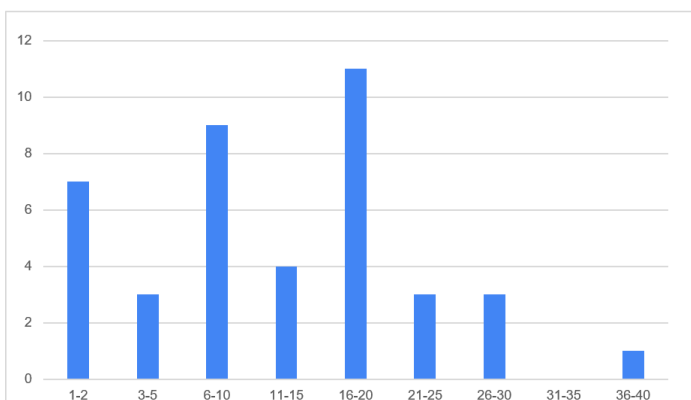
2. 会員数（数字をご入力ください）



横軸はそれぞれの団体の会員数
5人単位
縦軸は団体数

6人から15人の会員数が全体の45%を占めます。団体の活動形態によりますが、八王子地域では会員数の少ない小規模な団体が多いことがうかがえます。

3. 活動年数（年数の数字をご入力ください）

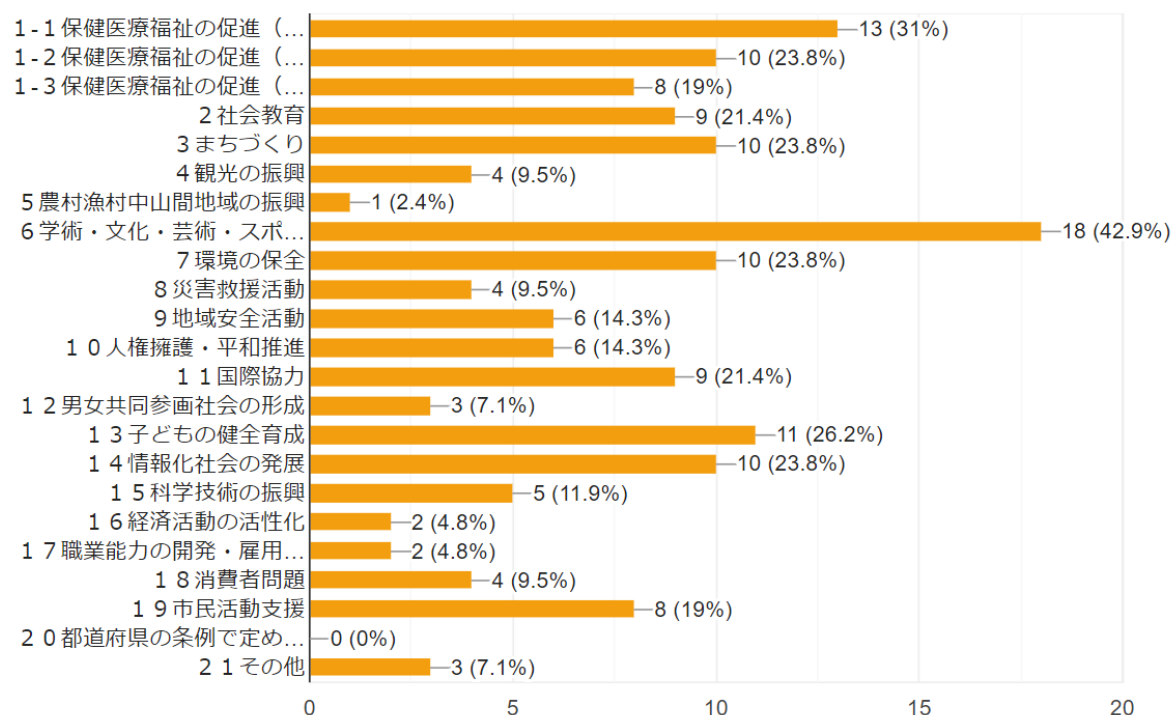


横軸はそれぞれの団体の団体の年数
5年単位 ただし1-2年、3-5年は分割した。
縦軸は団体数

2年未満の活動年数の団体もある程度はありますが、むしろ16年～20年と長い年数が一番多く、継続している団体が多いようです。

4. 活動分野（複数選択可能）

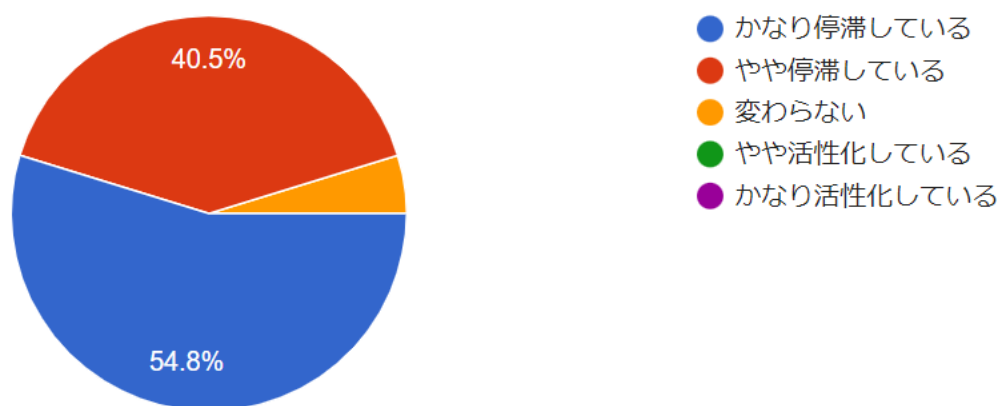
- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1-1 保健医療福祉の促進（高齢者） | 1-2 保健医療福祉の促進（障がい者） |
| 1-3 保健医療福祉の促進（全般、他） | |
| 2 社会教育 | 3 まちづくり |
| 4 観光の振興 | 5 農村漁村中山間地域の振興 |
| 6 学術・文化・芸術・スポーツの振興 | 7 環境の保全 |
| 8 災害救援活動 | 9 地域安全活動 |
| 10 人権擁護・平和推進 | 11 国際協力 |
| 12 男女共同参画社会の形成 | 13 子どもの健全育成 |
| 14 情報化社会の発展 | 15 科学技術の振興 |
| 16 経済活動の活性化 | 17 職業能力の開発・雇用機会拡充支援 |
| 18 消費者問題 | 19 市民活動支援 |
| 20 都道府県の条例で定める活動 | 21 その他 |



グラフでは3部門に割って表示してありますが、やはり保健福祉医療の分野が多くありました。その中でも高齢者福祉に関わる団体が多かったです。また「学術・文化・芸術・スポーツ」も目立ち、社会教育や自身の生きがいくりの活動を目的とする団体が多いようです。（市民活動と生涯学習のボーダーレス化がうかがえます）

II. コロナ関連についておたずねします。

5. 新型コロナウイルスの影響によって組織運営が停滞している、あるいは活性化していると感じる度合い



「かなり停滞している」、「やや停滞している」を合わせると95%が停滞を感じており、コロナ禍の活動への影響は多大であると見受けられます。

<自由記述>

- ・参加してきたイベントが開催されない
- ・地域の高齢者～子どもたちに食を通じた居場所の提供をしていますが、令和2年3月から食堂の開催ができていない。これに代わって、食品配布をしていますが、コロナ禍で社会のお役には立てていると思いますが、ワイワイガヤガヤ過ごすコミュニティの部分が満たされません。我々は生活支援団体ではないので、コミュニティができないのは致命的です。
- ・様々なイベントの中止
- ・都県をまたがる災害復旧支援活動、地区防災促進会議休止
- ・会場閉鎖
- ・対面での例会の制限、他クラブとの対面での交流の制限、国内外の大会の中止等
- ・緊急事態宣言中は、施設が使えない時が多かった。今は施設は使用できるが、自粛する場合もある。
- ・オンライン会議以外活動中止
- ・コロナ感染を心配して例会参加者が減った
- ・集合出来ないこと。(資料を持ち寄り活動)計画を検討する事、各地に移動しての活動が出来ない等
- ・コロナワクチン未接種による活動への参加ができなくなったこと。
- ・活動人員と活動回数
- ・緊急事態宣言中は密を避けるため、一部在宅支援を実施した。生産活動において、イベント中止が相次ぎ、収入減となった。
- ・対面での例会(何でも語ろう会)開催が十分できない
- ・会議が出来ず、活動も制限されてしまう。
- ・令和2年3月から食堂開催ができておりません。
- ・コミュニケーション不足
- ・会食が出来ず、料理教室が開けない。
- ・来客数の減少により経営がやや悪化
- ・研究会が何度か流れた。緊急事態でセンター、クリエイトホールなどが閉館。オンラインもいちど試みた

が、子供の作品を前にしての話し合いなどなかなかできない。ズームに慣れていない面があるとはいえ、多忙な教育・保育などの現場にかかわる方が多く、2か月にいちど程度の研究会なのに間があくと気持ちもそがれるし日程を決めるのも大変になる。

・1会場が不使用となった 2会員の協力が得にくくなった 3外国人との交流が減った（劇的に）日本語の学習をしたいのにできない 4支援活動も自由にできない（マスク、アルコール消毒等を必ずする点など）公演ができない

・「ごちそうらんち檜原（飲食をともなうイベント）」の集まりができなくなりました。

・会場の使用が制限されたこと

・「不要不急」と言われる平和運動が二の次になる様子です。昨年以来、来館者が途絶えバツタリです、「宣言」中は当方のスタッフも高齢者が多いので「閉館」としました。今夏は感染防止に努め8/6、9、15と中旬までは「閉館」しています。

・全体会の機会が減少した。

・イベントを中心に活動していたが、中止になった事で活動の場所がなくなった。

・行政が主催する事業に共催という形でかかわってきたが、それらの事業が中止され、活動の場がなくなった。また、新入会員のほとんどが行政が主催する講座の修了者なので、その講座が開催されず、新入会員がいない状況になっている。

・地域交流事業で計画する講演会、音楽会、多世代交流会などイベントが開催できない。

・全員参加型での竹林整備活動が出来ない

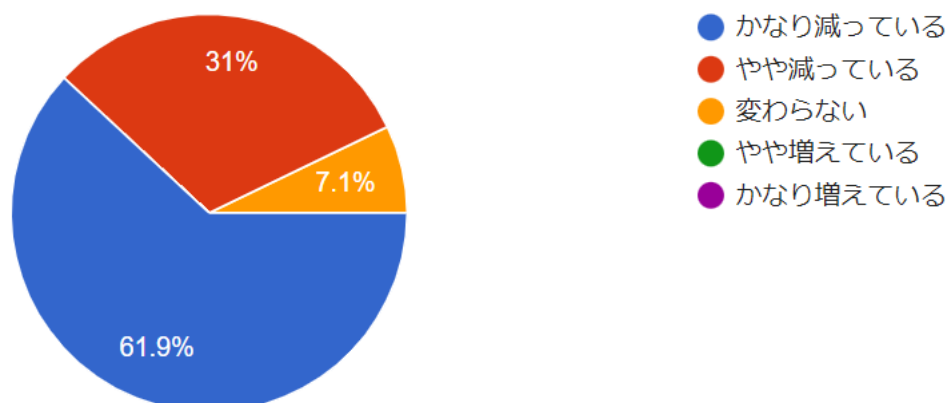
・会の主な活動であった、保育園、小学校での事業が減った。

・イベントの開催の予定を立てにくく、大々的に準備ができない（様子を見ながら損失が大きくならないように）小規模での開催を余儀なくされています。

・「出前語り」という直接保育園幼稚園小学校等への語りの場がコロナウイルスの感染状況下で中止が続いている

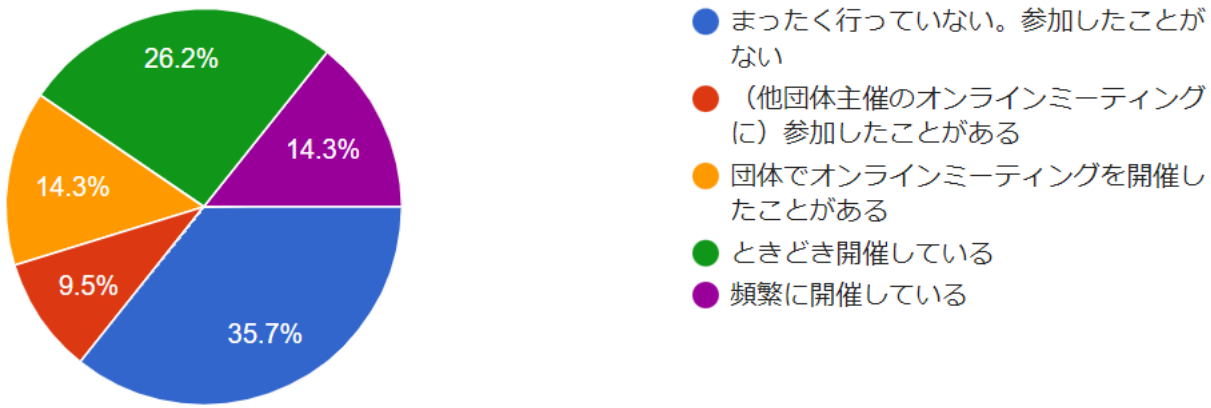
・SNS活動への移行、参加者の減少、活動の停滞

7. 新型コロナウイルスの影響によって対面でのミーティング等の頻度について変化はありますか？



93%の団体が減っていると答えていて、対面でのコミュニケーションの減少が見てとれます。

8. 新型コロナウイルスの影響によってオンラインでのミーティング等の頻度について変化はありますか？



オンラインミーティングについては半分程度の団体が自ら主催して活用しているようですが、これを合わせて65%がオンラインミーティングに参加したことがあると答えました。

9. 新型コロナウイルスの影響として新たに取り入れた事柄があれば具体的に教えてください。

- ・対面で品物を渡せないで郵送で届けた
- ・6項でも書きましたが、我々は食を通じたコミュニティーの提供ですが、食品配布を行っております。
- ・オンラインイベントの開催、会員の近況報告を郵送
- ・オンライン講演会
- ・オンラインでの会議、講習会、交流会、日本語指導。
- ・Zoomによる例会、勉強会。例会のオンライン配信。
- ・オンラインミーティング（支援センター殿の講習会にて学んだZoomを使用）
- ・無理な参加はしなくてよいことを、全員で理解し共有した。
- ・団体へのオンライン化支援
- ・遮蔽版の注文がかなりあったので、イベント（いちよう祭り、福祉祭りなど）中止で、木工製品等、売上減をカバーできた。全体ミーティングを中止し、代わりに放送に切り替えた。
- ・オンラインミーティング、近況報告の拡充（メールや電話等）、利用会場の変更
- ・模索中です。
- ・月例で食堂開催していた曜日に合わせて、食品配布を行っている
- ・オンライン授業、オンラインミーティング
- ・SNSの活用のためプロボノ申請
- ・会場参加できなかった人にズームで参加してもらうのを1回試してみた程度。次回もためしてみようとは思いますが……。オンライン参加できる全国研究会の紹介はしたことがある程度で特に無し。
- ・1会場の確保 2オンライン 3各自の体調管理
- ・紙芝居実演動画のDVDを作成し、ボランティアセンター窓口で貸出出来るようにしました
- ・ごちそうらんち檜原通信の発行を始めました。
- ・飲み会を止めている。一部の会費が来ていない。
- ・一部の会員の不参加
- ・環境問題、農業について関心のある大学生と交流して活動内容を広げる為の準備をした。コープみらいと

の共同で料理講習会を開催

- ・ズーム会議、メールでの情報交換
- ・Zoom を利用したハイブリッド型会議。Slack の利用。
- ・事務所内の感染防止対策として消毒液や検温器、パーティションなどの設置、購入
- ・対面での「語り」が出来なくなったので、CD DVD の収録に活動の重点が変わりつつあります。DVD の収録に活動の重点が変わりつつある。
- ・みらいき研のサードプレイス分科会として、IT を地域で推進・発展させるための「IT 自由研究室」を開校。子どもへの IT 教育の他、地域での IT 支援活動を新たに行っています。
- ・直接語れないことから、CD 製作を行い、学校等へ渡すことになった。保育園の要求から八王子のお話を DVD に収めることで後代に伝えられるかと開眼し、実行することとした。
- ・活動の ZOOM 化。リアルの人数制限。ポスティング化。不登校児の外でのお遊び相手化。子どもへの漫画教室、マジック教室

10. 今後の活動において、不安を感じていることがあれば教えてください。

- ・今まで参加してきたイベントが今後開催されるのか不安
- ・用意万端整えておりますが、公共の施設をお借りしておりますので、クラスターを出すわけにゆきませんので、運休状態です。
- ・実際に集まらなないと次第に関係が疎遠になっていく。ボランティアも定着しない。
- ・現在発生している被災地復旧支援
- ・コロナの感染
- ・コロナの早期収束を期待
- ・緊急事態宣言が出されると、自粛ムードになってしまいが、活動は不要不急ではなく常に求められていることなので、困る。
- ・コロナによる外出自粛ムードにより撮影頻度が減り、作品制作のモチベーションをいかに維持するか。
- ・新型および変異コロナウイルスの感染状況
- ・イベント開催が出来ない
- ・参加者の年齢が高齢化し、活動がやや消極的になったかもしれません
- ・会員の減少
- ・外出制限などで、障害をもつ利用者の皆さんの旅行など、楽しみとなるイベントが中止となり、気持ちや気分の落ち込みへの対応
- ・コロナの怖さを感じる度合いが構成員により異なり、仲間が全員が揃って参加できない。
- ・運営に関しての不安があります。
- ・不安はないが、子ども食堂として一切活動できていない
- ・親御さんの子供達へのコロナ感染に対する不安感
- ・いつまで自粛せねばならないのか？
- ・安定して会を継続するためには会場の人数制限を緩め、また安く利用できる公的施設で集まりやすい場があることが必要。スタートして日が浅くもう少し安定した運営が見通せないうちはいつ消えるかわからぬつなわたり状態。本当に支援を必要としている現場に役に立てるようどこまで今の状態で声をかけられるか不安を感じている。

- ・外国人に日本語や日本の生活の仕方等を支援するための資金と会場の確保
- ・実演は対面が大切なので、いつになれば再開出来るのかが不安です
- ・ごちそうらんち檜原の活動の再開
- ・陽性者が心配
- ・メンバーは志民塾が始まる前の「地域デビュー」に参加した OB のため加齢が進んでおり若い人が少ない。
- ・コロナ感染者への差別的な言動や風潮は 76 年前の被爆者への差別、関東大震災時の朝鮮、中国、沖縄や東北の人々への虐殺行動、東日本大震災の被災者への差別と同根であると思われます。近代史に学ばない日本人の民度の低さに落胆しています。他者の痛みに思いが及ばず恥ずべき民族と思う。
- ・コロナの終息があるのか？会員の大半を占める年配者が、設立時のエネルギーを無くし、コロナの影響で活動が先細りになっている。
- ・予定しているイベントの開催、観客数の増減
- ・行政と共催する事業が減っていったときに、当会独自の事業をどれだけ展開できるか、人材面で不安がある。毎月の会議にリモート参加する会員が多く、会員の気持ちの中では当会の活動への優先度が低いのだらうと思ってしまう。直接会う機会が減り、仕事の分担が、以前にも増して難しくなり、一握りのメンバーに負担が集中している。今後もこの傾向が続くと思われ、工夫が必要だと思う。
- ・イベント参加者の減少、会員の減少、事業の衰退。
- ・1 年半以上の活動停滞により、正常化以降も活動が元の水準に戻せない
- ・会員の健康とコロナウイルス感染の低下
- ・市民活動そのものの縮小化（すごいスピードで落ちている）。今までの改革精神の衰退。主体的市民活動の減少化。

1 1. 今後の活動において、これから実践・チャレンジしようとしていることがあれば教えてください。

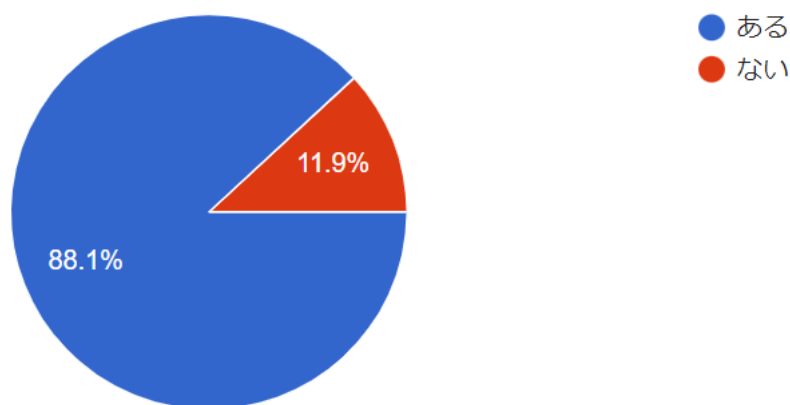
- ・対面活動が無い場合、今後はネットでのお知らせなどを充実する必要がある
- ・屋外駐車場を使い、地域の方をお招きして、芋煮会でもしたい
- ・当面はオンラインで乗り切るしかないと思っている。
- ・メンバー、役員会の会議、研修等を ZOOM で行う
- ・安全・安心なまちづくり
- ・チャリティコンサート、対面での交流の活発化
- ・オンラインで団体内での更なる交流。
- ・スマホ教室、健康アプリの取り入れ
- ・“個人的に取り組んでいる「まちづくり」に向けた活動にも取り組んでゆきたい”
- ・食糧等の循環社会の構築
- ・IT をつかって情報交換・発信を進めたい。
- ・市内関係団体との協働
- ・三密を避けた上での楽しみ 例：利用者だけのお祭り、少人数での TV ゲーム
- ・行政との連携した活動
- ・新しい団体の為、理念に基づく活動が出来る様にまずは発信に力を入れていきます。
- ・一般的に言われている対策はすべて準備しているが、公共の建物で慎重な運営を考えています
- ・授業の早期再開、新会員の募集

- ・ボランティア活動資金の確保
- ・DVD は夏編を作ったので、今後秋編、冬編も作れたらと思います
- ・摂食嚥下に関する小さな情報発信ができればと考えていますが、現在はまだ具体的な活動にはなっていません。
- ・維持することが大事 継続は宝なり 健康が第一
- ・民間のボランティアで継続してきましたが、限界を感じている。各地の「平和資料館」が閉鎖となっている。八王子市の公的な施設での公的運営を求めたい。
- ・ZOOM の導入
- ・活動内容の見直し、点検して社会的意義のある側面を充実させる。
- ・ネット販売
- ・ハイブリッド型で講座を行うこと。
- ・オンラインによる会議、交流会、イベントの開催
- ・数か月前から始めたばかりですが。IT スキルと団体が保有しているオンライン会議用のスペックのやや高い機材を利活用してもらおう活動。福祉支援団体がオンラインでの会議やイベント開催を望んでいるが、オンライン主催にやや不安を感じている人が多い。そこで、上記サードプレイス分科会として、オンライン会議開催支援を行っており、これを少しずつ拡大したい。
- ・市内の昔話を各地区ごとに小学校ごとに伝えられるよう調査を DVD 製作に向けて力を合わせていきたい。
- ・たくさんあります。が、それらがさらにやりにくくなる傾向に市内全体が振れていることへの大いなる危機感。自粛中といえども、新しい手法を考えぬいて、実践することを続けたい。1 か月に10平均のイベントをやり続けた時期もありました。コロナを念頭に置いた新しいやり方です。今こそ、市民の主体的活動を新しく創っていく時期です。コロナ禍は、新しい仕組みづくりのヒントを大自然が与えてくれたのだという前向きな解釈をして、そのような動きを考え直すというチャレンジをしてほしい。私たちは、そういう実践を実践して広めていきたい。市民活動協議会のミッションは今こそ、必要な時期です。私たちなりに実践・チャレンジで応援していきます。

III. 八王子市市民活動支援センターについておたずねします。

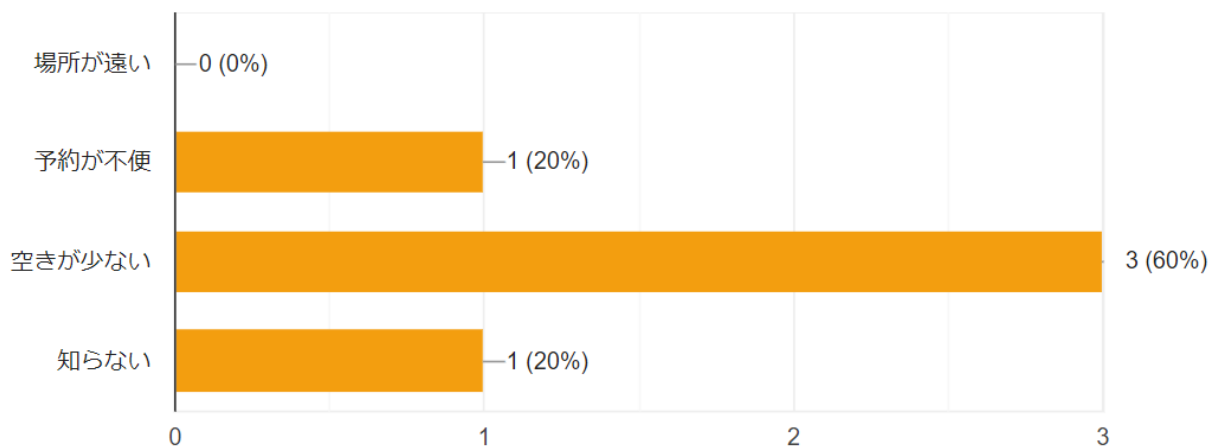
1 2. 利用の有無

・市民活動支援センターを利用したことがありますか？



本調査はセンター来所者ではなく、インターネットを活用したオンラインで行ったにも関わらず、「利用ある」が9割近くとなった結果となりました。

1 3 ・利用が無い場合の理由（選択）



母数は少ないものの、会議室の空気が少ない、という回答が一番多かったです。

1 4．利用が無い場合の理由（その他の自由記入）

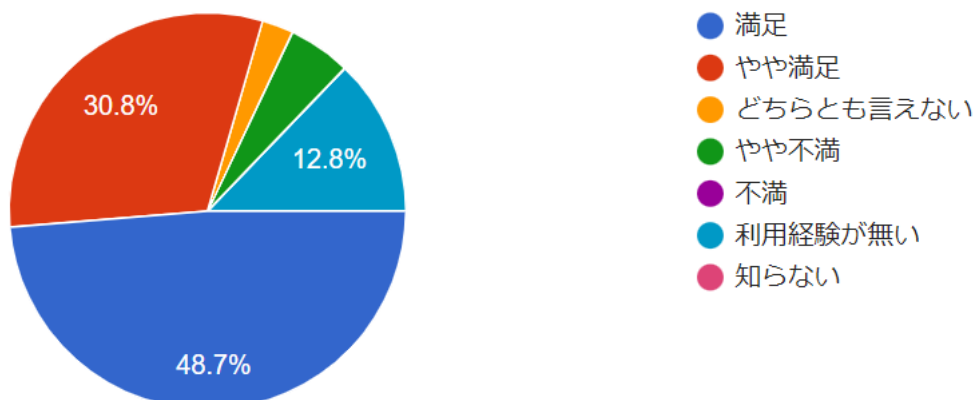
- ・場所の確保は常にできる状況です
- ・今のところ必要性を感じていないため
- ・最近ではコロナ感染防止のため Zoom により対応している。
- ・zoom で行う事から今は不要
- ・必要としていない

■市民活動支援センターは八王子市が施行した条例等で（１）～（６）のような事業を行うことを求められています。

(1) 市民活動の促進のための施設の提供に関すること。

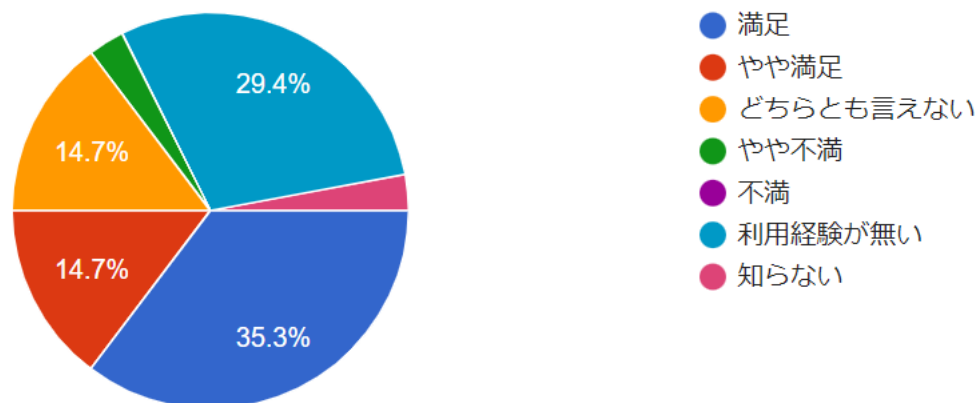
センターには、登録団体がミーティング等を行う会議室や誰でも打合せや等で利用できるフリースペースがあります。また印刷機やコピー機等の機材も用意しています。

1 5．会議室を借りてみて



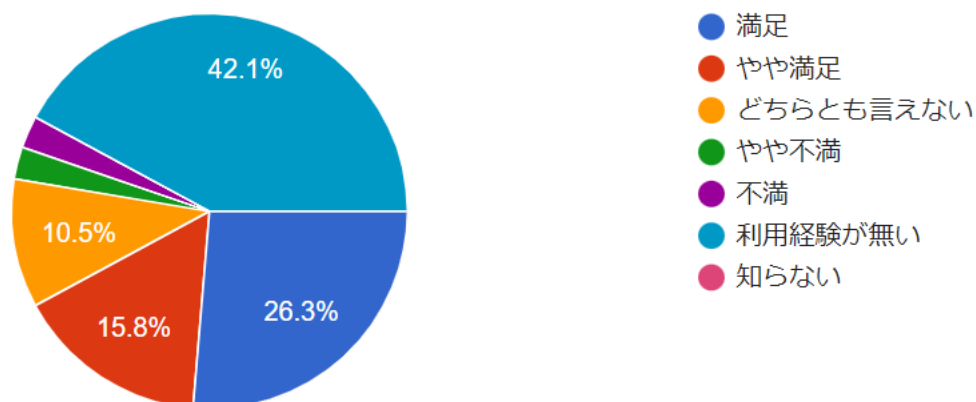
利用経験が無い団体もあるものの、全体のうち8割程度の団体が満足あるいはやや満足と答えています。

16. フリースペースを利用してみて



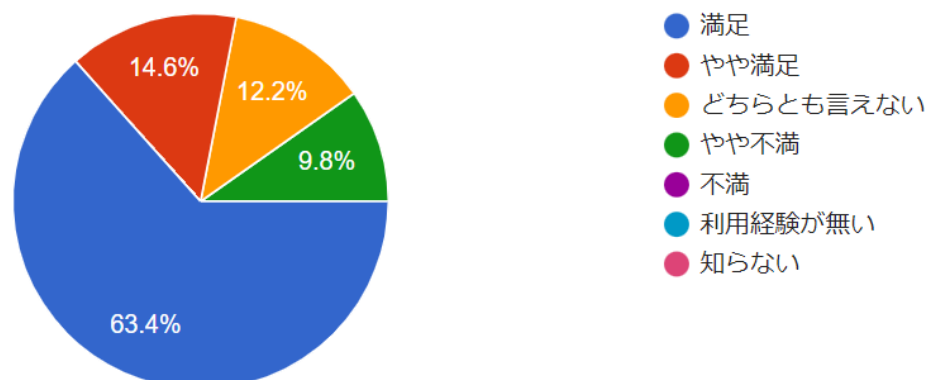
50%の団体が「満足」または「やや満足」の評価となりました、

17. 印刷機等（有料）を借りてみて



42%の団体から「満足」または「やや満足」の評価がありましたが、42%が利用経験が無いという結果になりました。

18. 立地場所（八王子市旭町・JR 八王子駅と京王八王子駅の間点）について



78%が「満足」または「やや満足」となりました。やはり駅に近い場所の利便性が評価されたと思われます。ただし、以下の自由意見に記述されたように、駐車場や駐輪場が無いことへの不満もあります。

19. 八王子市市民活動支援センターの施設について、その他、自由なご意見をお聞かせください。

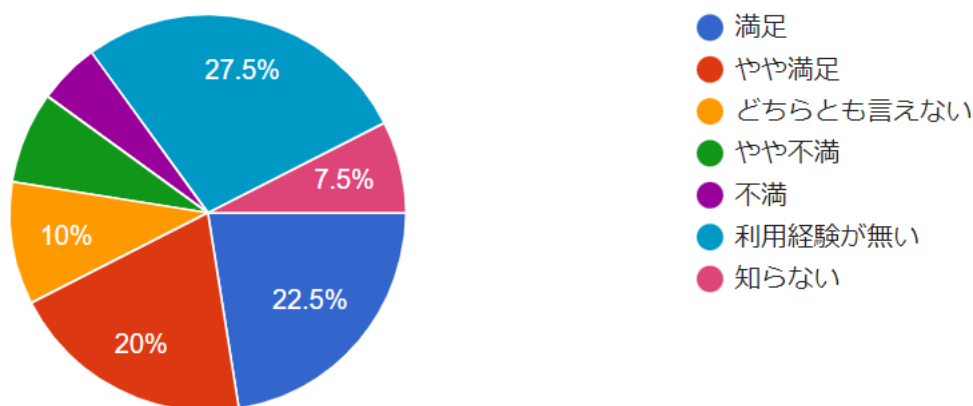
- ・印刷の時などバイクで荷物を運ぶが、とめておく場所がない。印刷については最近では生涯学習センターを利用するようになっている。
- ・駐車場がないので、公共交通機関を使うがコロナ感染に不安
- ・立地はよいので機会があれば利用したい。
- ・空きがあれば、もう少し多い回数でも借りられるとありがたい。
- ・鉄道の駅から近く、集合しやすい場所にあり、設備がそろっている上、それらの操作もすぐに教えてもらえるので私達は恵まれていると思います。
- ・スタッフの皆さんもとても親切で、施設はとても使いやすいと思います。
- ・クリエイトホールと同様に駐輪スペースがあると良い
- ・とても親切な対応をして頂いた為、もっと早くに施設の事を知っておきたかったです。
- ・素晴らしい組織で活用させてもらっております
- ・センターの職員の方の対応が素晴らしい
- ・明るくて、使いやすい。
- ・以前はスタッフさんが愛想無しでしたが、最近は改善され、センターに入りやすくなりました。
- ・交通至便な地に無料で使えるこのような施設は本当にありがたい。とくに私たちのような新しい研究会の立ち上げをしようと思うものにとって、はじめから高い利用料の負担を（それも何人あつまれるかわからない状態から）しなければならないのは予想以上の高いハードル。ここがあったからとりあえずはじめられたと感謝。コロナ禍ではじめから困難にぶつかったが、こういう施設をぜひもっと作ってほしい。
- ・八王子駅近くだけでなく、学校の空き部屋等も利用できるになれば今日本語を学習したい方々に各地域で学べる場所ができて多くのボランティアチームが支援しやすくなりますが！
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。とても助かっています。
- ・中核市八王子の施設としてはあまりに狭いと思います。労政会館はもうないし、安価で使える集会室が欲しい。
- ・駅近くで便利だが、車での利用の場合、駐車場がないので不便。パソコン機器など貸出用品も揃っている、便利です。様々な相談にも気楽に対応してくれるので、大変重宝して利用しています。
- ・駐車場の確保
- ・無料で会議室を借りることができるし、ちょっとした打ち合わせにフリースペースが使えるので、ありがたいと思う。
- ・活動開始から15年以上経過。独自の活動拠点もありセンターへの依存が減少しました。
- ・活動しやすいように親切に支援していただいている。今後も応援していただきたい。
- ・狭い！協議会は、行政にプッシュし続けてほしい。なぜなら、武蔵野、府中と比べて、まるで、比較にならない。双方とも、駅から歩き1分以内、セレオの2フロアを誰もが楽しく使えるような場を設置している。
- ・市民活動応援に対する市の取り組み状況の差は歴然です。協議会はことあるごとに、市に訴え続けてほしい。協議会は市の下部機関ではありません。市民の代表のかなめです。近年の活動では、その意識が低下し

ていると思います。民の声に従って行政が動くようにすることが民主主義の基本だと思います。施設の在り方は、その考えの現象です。施設拡充が絡むので、当欄にも書かせていただきました。

(2) 市民活動を行う者、市民、事業者及び市の相互の連携並びに交流の促進に関すること。

・多様な連携をコーディネートしています。複雑化する社会で、行政・企業・大学・市民、それぞれでは解決が難しいこともあり、相互に連携することで力を発揮できる場面があります。センターはそのための中継点として機能します。

20. 団体間や行政等のコーディネート・交流



42. 5%が「満足」または「やや満足」となりましたが、自由記述では高評価もありました。

21. 団体間や行政等のコーディネート・交流について、自由なご意見をお聞かせください。

・とても良く頑張っていらっしゃると思う。様々な情報の提供や講座・交流企画の開催など。こちらの団体に余裕がなくてなかなか参加できないのが残念。

・登録団体は、それぞれの活動にしか興味がなく、地域安全化、災害支援などでの交流、イベント参加がない

・団体の拡大には期待できない。

・今のところ、数団体とは直接コンタクトしているが、将来、必要が生じた場合は支援センターに相談などしたい。

・高齢者の起業に関連する行政からの応援或いは指導があるのでしょうか。

・個別具体的な計画やその内容について、あるいは全体像についてわかりにくい。

・今年度から行政との接触を検討しており、協力をお願いしたい。

・行政・社協等の横の繋がりがもっとあれば良かったと感じました。

・さらなるご活躍を期待しております

・行政とのコミュニケーションがスムーズ。

・そのような企画があったとしても、自団体には参加する余裕がない

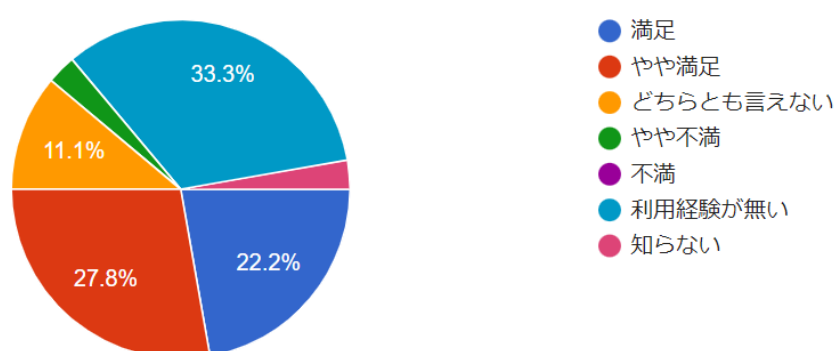
・まだ会の維持でいっぱいいっぱいまでそこまで考えていない。もう少し自由に集まれるようになった時、広報の力や知恵をお借りして、会を安定させ、交流も考えていければと思っている。

- ・行政の動きがおそいし細かい指導がない
- ・コロナが収まれば、団体間の交流会も企画して頂けるといいと思います。
- ・イベントには、市長や議員などの挨拶もあり、身近なところで、声が聞けるので、良いと思うが、町会自治会等地域関係者との交流がもっと欲しい。地域の代表者も、自分の地域内にある NPO との繋がりが薄いのでは？
- ・もっと交流の場が欲しい。
- ・小グループに分けての交流会の開催など。
- ・コーディネート実施例を情報発信すると団体にとって参考になると思う。
- ・ありがとうございます。毎年、それなりに頑張っておられることはわかります。感謝しております。しかし、新しい時代向けの活動を先駆的に行っているかという観点は忘れないでいただきたいです。新しい時代に向かってのかじ取りが、市内の他団体よりも先行するような活動を心がけてください。市活センターも協議会も同一扱いに人事上はなっているので協議会への意見も含ませていただきます)。団体間の交流：多くしてほしい。特に、20 年前から存在するけど、今も頑張っている団体への応援は、特に力を入れてほしい。新しい団体を起こすことを一生懸命やっても。持続しなければ歴史的には意味が少なくなります。継続の努力を各団体ごとに進めてこそ、協議会の繁栄にむすびつけるのではないのでしょうか。その応援こそ、重要と思います。コーディネートについては、センター、協議会メンバーがコーディネート講師できるようになることが重要と思います。それくらいの歴史は十分重ねていますし、市内だけでも浅野さんなど人財も大勢います。交流については、日常の活動の中で、団体間の交流も仕掛けるといいと思います。

(3) 市民活動の啓発及び人材育成に関すること。

- ・NPO の運営や活動資金、広報等のノウハウをプロの講師から学ぶ講座や、市民活動団体の活動に触れることができるイベント等を開催しています。

2.2. 講座（アクティブ市民塾、パワーアップ講座、実践講座、支援講座等）



50%が「満足」または「やや満足」となりましたが、3割の方が「利用経験が無い」という結果になりました。

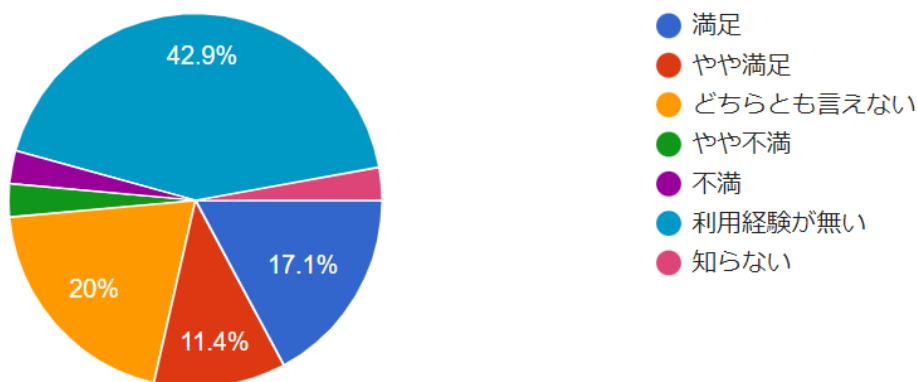
2 3．講座（アクティブ市民塾、パワーアップ講座等）について自由なご意見をお聞かせください。

- ・仕事をしている身では平日は参加できない。注意深く見ております
- ・地域の活性化及びまちづくりの専門家の講座
- ・Zoom 活用講座は大変時宜を得た有効な講座でした。今後も当倶楽部にとって活用できる講座があれば受講したいと思いますので、いろいろな講座をご紹介下さい。
- ・日常的に有益な内容の講座と、やや未来志向な講座を取り混ぜて開催していただきたい。
- ・自団体や他団体が参加したいと思うような講座が少ないと感じる
- ・zoom や動画の講座を、繰り返しきめ細かく開催していることが評価できる。
- ・色々企画があって素晴らしいと思います。以前講座を受けとても団体運営に役にたった経験がある。
- ・今度受講するので、しっかり勉強したいありがたいと思っています。
- ・時代の先駆的な手法を市民に伝える点は、大いに評価できます。続けてください。新しい活動を広げることによりエネルギーを使いすぎないで、現存する団体の悩みを解決できる実力をつけて、対応していくことも忘れずに。

(4) 市民活動の相談に関すること。

「市民活動にはどのようにすれば関われるのでしょうか?」「団体を立ち上げたい」「活動資金をどのように獲得すれば良いでしょうか」等、多様な相談を受け付けています。また、必要に応じて専門家による相談も行っています。

2 4．相談（組織運営、NPO 法人設立等）



「満足」または「やや満足」となりましたが38.5%です。「利用経験が無い」が43%いますが、「相談」の満足度を高める工夫とスタッフの能力アップが必要です。

2 5．相談について自由なご意見をお聞かせください。

- ・15年前にNPO申請をした時にアドバイスをいただき、大変に助かりました。
- ・残念ながら余り期待出来ない
- ・会員の高齢化により活動の幅に狭まりが見え始めたことや、新入会者がいても、従来からの会員に故障者

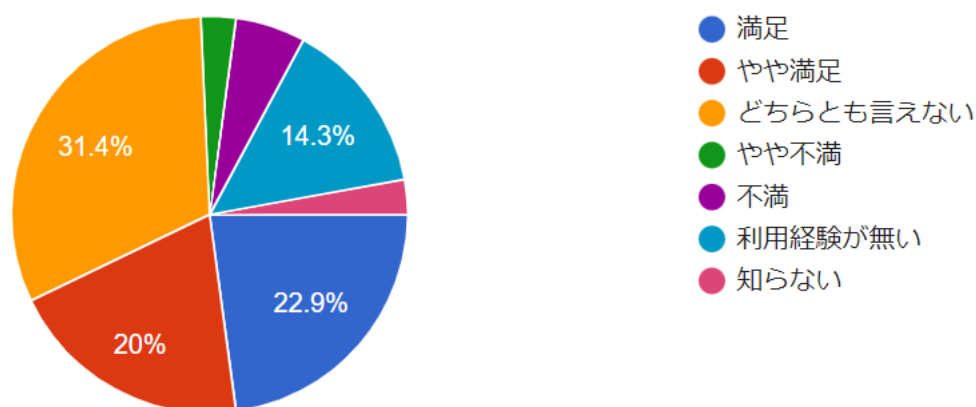
などが出て、会員の増加がなかなか進まない事など。

- ・一般市民の視点で、やさしく相談に乗っていただける方をお願いしたい。
- ・どのような相談事例があるのか公開されている情報が少ない
- ・これから沢山、相談させて頂きたいです。
- ・補助金等の申請から支給まで時間がかかりすぎ、市政のスピード化を望む
- ・とても親身に教えて頂き、助かっています。
- ・以前は気楽に出入りして大変親しみを感じていたがここ数年活動が忙し過ぎて何と無く遠ざかってしまった。
- ・訪問してまでの相談はよほどのことでしょう。その内容には、対応できていることと推察します。相談内容の可視化はできているのでしょうか？以前は、相談内容月報を創って回覧していました。共有は必須だからです。そのつづりは保管されていると思います。共有するために、相談する元気もないくらいに課題を抱えている団体は少なくありません。センターから気になる団体に出かけて行って、相談対応するようなセンターになっていただけないでしょうか。課題は、現場にあります。待ちの姿勢でない運営を望みます。

(5) 市民活動の情報の収集及び提供に関すること。

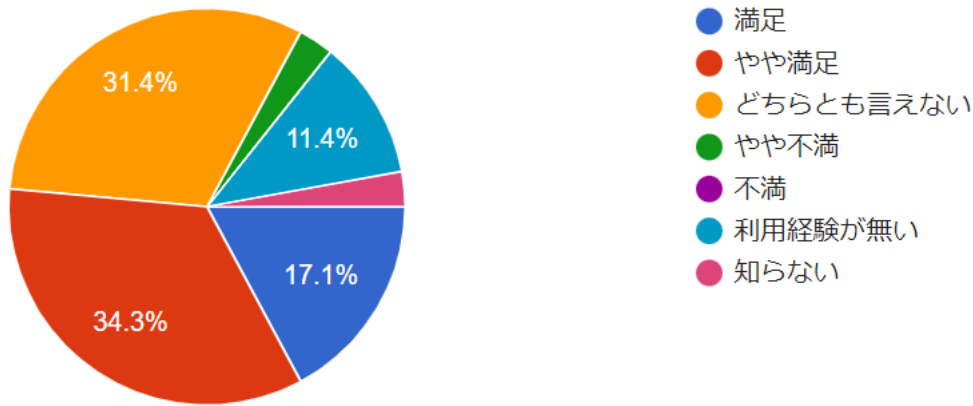
市民活動に関するさまざまな情報をセンターで閲覧できるほか、広報紙「support802」の発行、市民活動団体の活動やイベント等を情報発信する八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」の運営も行っています。

26. 八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」



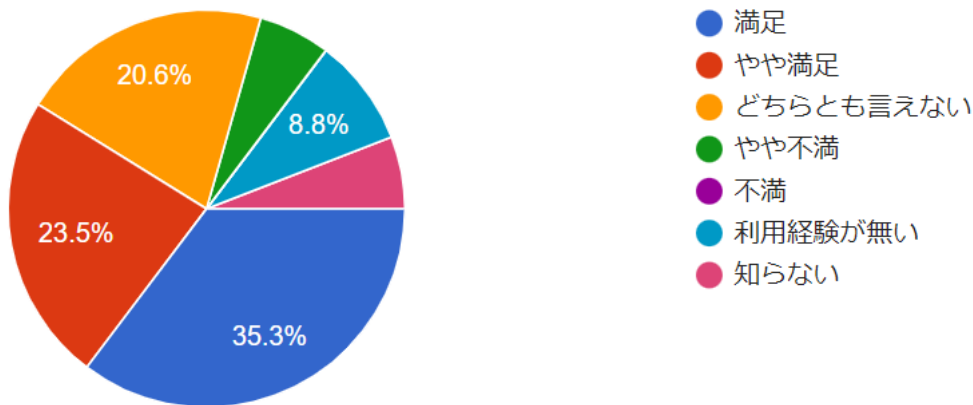
「満足」または「やや満足」は42.9%ですが、一方、一番多いのは3割超の「どちらとも言えない」との答えです。「利用経験が無い」は14.3%と少なく、知名度がまったく無いわけではないと思います。

27. センターホームページ



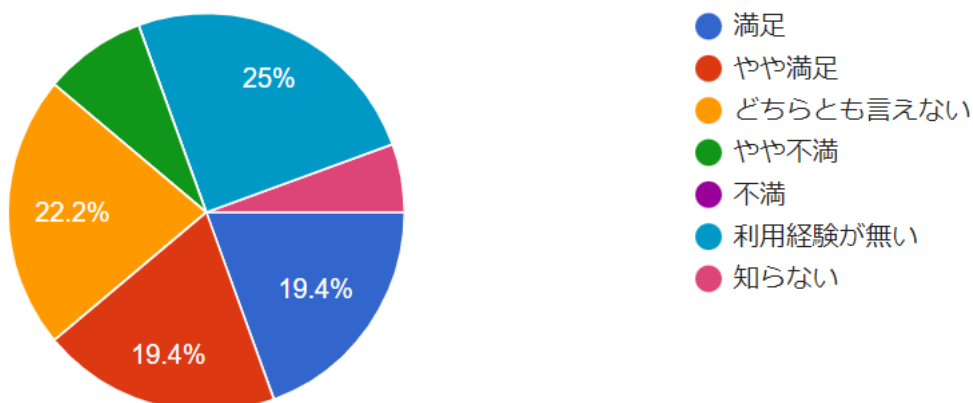
「満足」または「やや満足」は51.4%で半分以上の方が満足であると答えていますが、「どちらとも言えない」も31.4%あり、ホームページの工夫もニーズがあると感じます。

28. 広報紙 SUPPORT802



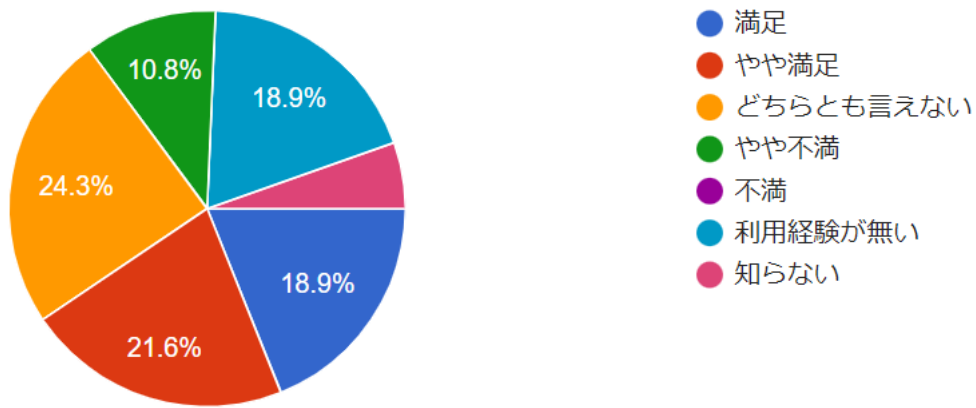
「満足」または「やや満足」は58.8%で半分以上の方が満足であると答えています。「利用経験が無い」は8.8%となりました。

29. メルマガ SUPPORT802



「満足」または「やや満足」は38.4%となり、ホームページや広報紙と比べると認知度が少ないと思われます。

30. センター内の専門図書・情報ファイル・チラシ等



「満足」または「やや満足」は40.5%となりました。センター内の情報取得機能が不足しています。

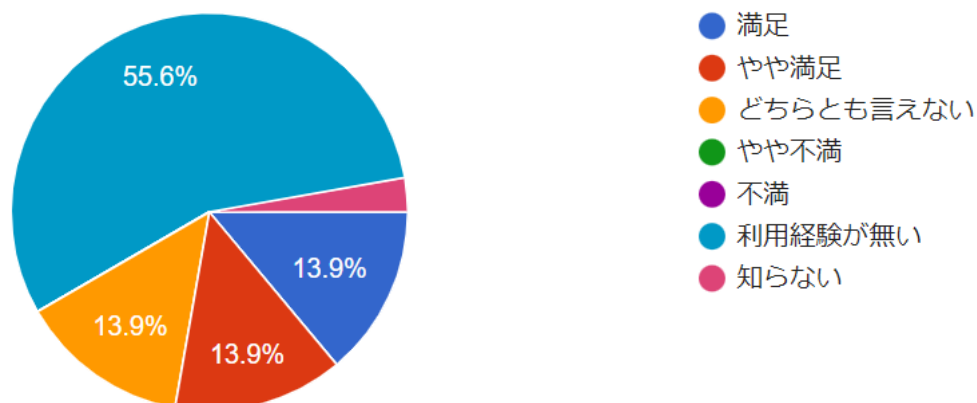
31. 市民活動の情報の収集及び提供について自由なご意見をお聞かせください。

- ・センターから届く、メールや郵便物は唯一の情報元で参考になる
- ・災害時、各々の団体の得意技を集めて復旧支援に当たるようなネットワークを作りたい
- ・ボランティア同志の相互協力の斡旋
- ・今後、充実した活動を目指すためには支援センターの影響に依存して情報の収集提供を行いたい。
- ・市民活動に関して必要な情報が発信されています。
- ・はちコミねっとの情報が特定団体の情報が多過ぎて、印象が良くない。
- ・発注のケアマネの話をしてください。ききたいです。これからの人生、人の話しをききたいです。講座を知らせてください。
- ・専門図書等の貸し出し時間を長くしてほしい
- ・先日はサポート802掲載ありがとうございました。反響2件ありました。
- ・ホームページに様々アップして頂いてるが、最近までゆっくり開いて検索する時間、ゆとりがなかった。ピンポイントにダイレクトに情報下さると、意識がかわるのでは？
- ・力が入ってない印象を受ける。広報としてのアイデア不足。
- ・他の団体の活動状況がわかりやすい
- ・市内の市民活動の先駆的活動も拾って紹介してほしい。団体パンフレット発行ありがとうございます。加えて、SNSでの発行に置き換えれば、冊子発行をしなくてもよくなります。センターや協議会は懸命に発信しているのだから、市民がもっと読んでくれるといいですね。

(6) ヒト・モノと団体をつなぐ「参加」に関すること。

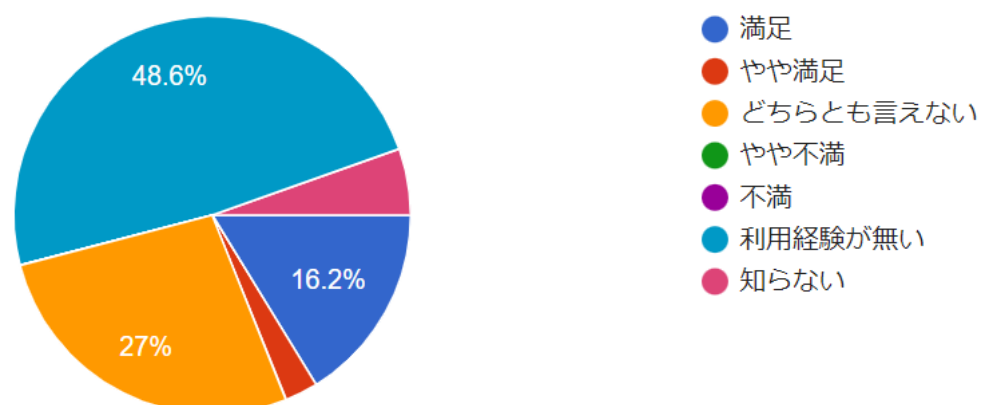
市民活動団体をヒトやモノ等で支援する仕組み「ゆめおりファンド」を運営しています。直接活動している「団体」と間接的に参加したい「企業等」をヒト（知識や経験）やモノで結びつける仕組みです。

3 2. 団体等への人財（プロボノ）支援



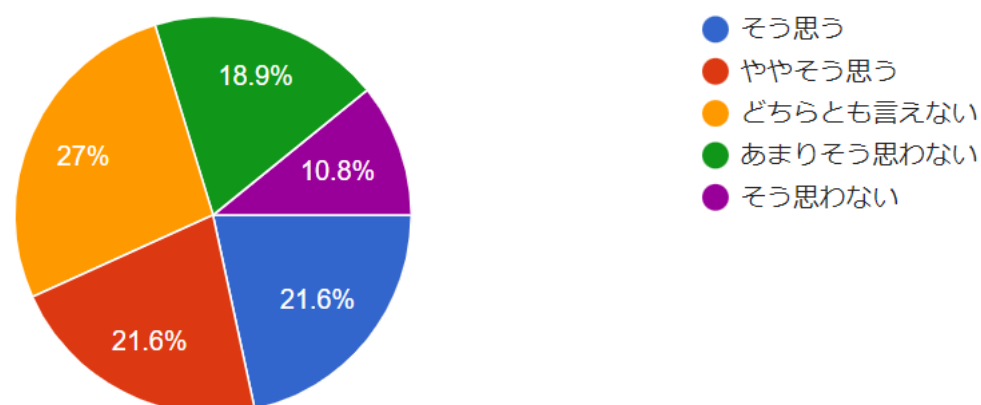
「利用経験が無い」が55.6%となり、利用するには一定の要件があるものの、今後、より多くの団体への告知が必要と思われます。

3 3. 団体等への物資の支援



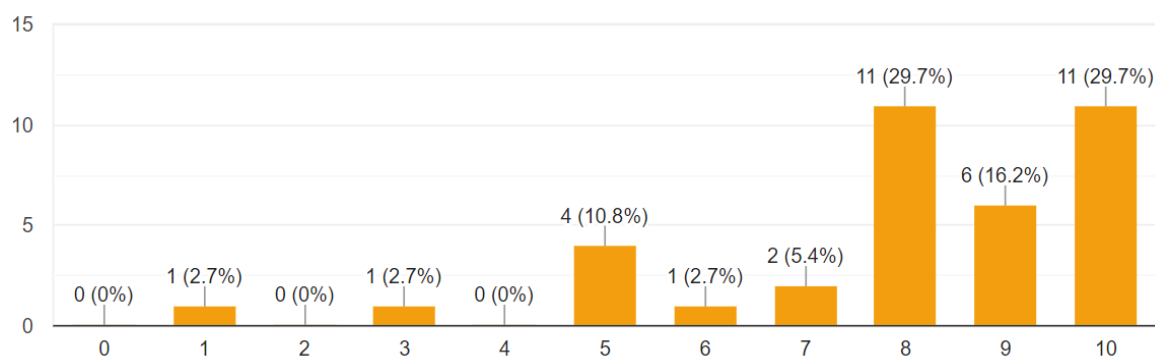
こちらも「利用経験が無い」が48.6%となり、より多くの団体への告知が必要と思われます。

3 4. 貴団体への資金の提供を必要としますか



「そう思う」、「ややそう思う」と 43.2%の団体が資金の提供の必要性を感じています。

35. あなたの友人・知人に八王子市市民活動支援センターの利用を勧めますか 10点満点で0～10点の値をご記入ください。



8点、9点、10点の合計が75.6%となり、高い評価をした団体が多くありました。

36. 八王子市市民活動支援センターについて自由なご意見をお聞かせください。

・送られてくる情報誌やメールをいつも楽しみにみている。なかなかリアクションできないが、これからもお付き合いをよろしくお願いします。

・八王子市、市内大学、大学コンソーシアムとの情報共有、社会福祉協議会、自町連、教育長、PTA等との広い連携、協働を望みます

・各団体に対してニーズに合った情報の提供

・いつまでも、これまでのような親しみやすく身近な存在であって欲しい。

・センターの存在とその活動をもっと市民に広く知らせるようにすべきだと思います。

・新しい体制で頑張ってください

・とても有り難い施設だと感じています。

・アクセスがよく、職員の方々の対応が丁寧でいい。

・高齢者が気軽に利用できる空間があってありがたいです。現在体操（DVD）をしていますが、その都度機器の接続をしないと行けないのでむずかしくて……。体操をするにあたって机と椅子を移動させないとのびのびと動けないので高齢者にはその作業がたいへんです。

・会の設立当初より本当にお世話になっています。いつも感謝しています。今後とも宜しくおねがいします。

・一般的市民への周知がまだまだ足りないなので、広報活動に頑張ってください。

・組織の形態がよくわからない

・各種事業の企画やパンフレットのレベルが昔に比べ格段にアップしている。

・センターの職員の対応が丁寧で、センターへの出入りが楽しみになっている。今後も引き続きご支援をお願いしたい。私たちも情報をできるだけお伝えしたく思っている。

・社協、包括支援センター、学校・・・様々な団体が、横つなぎして地域の課題に対応することなしに、解決は難しい時代に完全になりました。センター（協議会）の役割は益々、重要になります。頑張ってください。・初めて訪問する人がまた行きたくなるような窓口の雰囲気にしてください。・センターは、WITH コロナでの新しい市民活動の先駆的存在です。今までのままに戻ることを考えていないと思います。新しい時

代でのセンターの在り方を内部で討議して市民に知らせてください。

37. 市民活動について自由なご意見をお聞かせください。

- ・はちおうじNPOフェスティバルに出店参加はできないので、活動を知らせるチラシだけ置けるようにしていただけると良いと思う
- ・いくつもの団体に首を突っ込み過ぎていて、「自分で蒔いた種でしょ」と言われました。
- ・得意技、資格等の人材情報を共有できれば、交流も深まり活発になると思います。世田谷区では区内NPOの連絡網ができていて、日ごろから災害時に集まれる仕組みがあります。八王子でもかような繋がりが欲しいと思っています。
- ・地域の早期まちづくり活性化に関心あり。
- ・当倶楽部以外にも多くの団体は高齢化と会員の伸び悩みや減少の問題を内在しており、就業年齢の引き上げも影響すると思いますが、この難題を克服し倶楽部の活性化を考えてゆきたいと思っています。
- ・近い将来の、より高齢化の進む時代を見据えて、より多くの市民に参加・活動してもらいたい。
- ・新しい団体などより多様な団体を連携できると良い
- ・様々な方の助言やお力をお借りして頑張らせて頂きます。
- ・35の設問に関し、他に勧めたいけれど利用が増え、会場利用が増え会場利用が難しくなるのはつらいなあ。
- ・年間を通じていろいろな講座を受けれるといいなあ。時には国会議事堂や都庁を訪問したり、一日名所めぐりのバス旅行があったり。
- ・ボランティア活動は無理なく永く続けて行く事が大切だと思います。
- ・私は町会長も務めております。町会では加入者の減少に悩んでいます。自分のやりたいことは参加するけれど「他者との協働とか支え合い」には関わらない人の多いことに驚きます。「市民活動」とはどういうことなのでしょう？悩んでいます。 役員の成り手がいない！抽選にするとやめてしまう。向こう三軒両隣と話しもしない市民社会とは異常ではないですか？ コロナでイベントも会議もできない2年目の夏が終わろうとしています。
- ・八王子市内でも町会の基盤がしっかりしている昔ながらの古い地域では、新しい形の市民活動が中々根付かない傾向にあると感じているが、今後は古い地域に新しい風を吹き込む市民活動を生み、育てる事が八王子の発展に欠かせない要素だと思う。
- ・市民活動団体と当該分野の行政の部署との協働が課題。当団体の場合、地球温暖化防止を目的とした竹林整備をやっているが、農林部あるいは環境部と言った部署からの協働の働きかけを受けたことがない。有償での市民活動、ソーシャルビジネスでの活動の肝といった点での情報交換を増やして欲しい。また、同分野を推進したい。現在、一部ではあるが「ただ」「安い」事でしか成り立たない活動が多い気がしています。それだと地域経済がまわりにくい？などなど、いろいろ考えている人も多いと思うので、そういった勉強会など。（あっ、自分が開催すればいいのか？ すみません、雑談を記入してしまいました。ただ正直な思いです）
- ・八王子のむかし話を幼児から自然に学べるよう工夫していきたい。他の活動団体の様子についても時に応じて学ばせていただき、協力できるところは手を携えていきたいものと思う。
- ・市民の幸せのために、これまで以上に重要な組織と思います。
- ・日ごろの活動ありがとうございます。

- ・このアンケート書きづらかった。ワードみたいに1ページの全文章が分かるような方式がよかった。
- ・市民活動の主体性が少なくなっているのは、協議会の意味が少なくなります。行政の言う通りでは、民が主体とは言えません。国や行政は、当然、主体的な市民活動にはある程度の規制をかけようとしています。それでは、逆です。民の意思を実践できるようにしていくのが民主主義です。その先鋒でないと、主体的市民活動推進とは言えないと思います。
- ・協働の大切さはこれからこそ重要。行政目線でない、民目線の活動に転換してください。
- ・各メンバー（協議会を含め）の姿勢のベクトル合わせをしてください。
- ・現存の団体に出かけて行って、課題や悩みを聴いて解決してあげてください。せっかく作った団体の継続を応援しないと今後とも発展は望めません。なぜなら、時がたてば、団体はなくなっていくということになります、それでは継続性が担保されない市活になります。
- ・ファシリテーターを増やしてください。ファシリテーションは、これからの民主主義の基本です。一人一人の生の声をいかに楽しく引き出すか？市活センター職員がファシリテートできるようになれば、ずいぶん進むと思います。
- ・これから厳しくなるので、市活の役割はもっとももっとも元重要になります。「市民である」でなく「市民となる」ことがじゅうようになります。「となる」ということは、日々努力することです。困りごとを抱えている市民がハッピーに暮らせるように応援しあうことが重要と思います。その基盤となるのが、市民活動支援センターと思います。とても期待しています。
- ・10年前に比べて、全日本的に「仲間が少なくなった」というのが全国民の傾向です。市民が仲間が増えたという実感がわいて幸せ感を保てるようにセンターに大いに期待します。
- ・福祉は国民的時代的課題です。センターも取り上げてください。イベントなどを増やすのは簡単です。しかし、今ある団体の活動維持の応援こそ重要であることなので、大いに期待します。
- ・パラリンピックでは感動を受けました。様々な個性の人が、その人なりに頑張っていて楽しく競いました。市民活動も様々な団体が刺激しあってハッピーな地域社会を創っていくことがとても楽しいことと思います。中核となるセンター活動の広がり期待大です。頑張ってください。

以上